

部活動として 滋賀県下初 電気部eスポーツ大会出場

いよいよ来年度は 単独eスポーツ部として始動



滋賀県立八幡工業高等学校新聞部
TEL. 0748-37-7227
印刷所 ひがし印刷



オフラインでのコミュニケーションが最重要課題

→ 普段の練習風景。現在パソコンは6台。今後の増設も検討中だ。

本校は今年度、電気部の中でeスポーツの活動を開始した。来年度には単独のeスポーツ部として設置される。滋賀県内の高校で同好会はあるものの、部としての設置は滋賀県初。1年生のみで活動する電気部eスポーツ23名の初めての大会と、夏休み中の活動を紹介します。

(関連特集 4・5面に続く)



← ロケットリーグをプレイする部員

チームで闘うことが醍醐味 スマホの使い方やモラルを大切に

取り組んでいるゲームは主に、クラッシュ・ロワイヤル(クラロワ)やリーグ・オブ・レジェンド(LOL)、エーペックス(APEX)だ。今春には「ステージ0(ゼロ)」という高校生eスポーツ大会があり、本校はクラロワとLOLに5チームが出場した。残念ながら5チームとも1回戦で敗退してしまっただが、この経験を次に

の対戦に生かそうと練習に取り組んでいる。現在は一年生のみ23名が所属している。平日の活動は、録画したプレイを皆で見返したり、Youtubeを観て様々な戦略を練り、チームで集まって練習して技術の向上を目指している。eスポーツ部には大切にしていくことがある。それは部室に皆で集まって活動することだ。

顧問の三浦先生は人付き合いやコミュニケーションを重視しているため、ゲームはオンラインでもコミュニケーションはオフラインで活動している。他にも「eスポーツ部に入っているせいで成績が下がった」ということにならないようにルールを守って活動することに力点を置いているという。(集)

(関連特集 4・5面に続く)

コロナで延期 60周年記念行事

今年も

中止決定

開校して60年を迎えたのは、昨年二〇二〇年だ。しかし昨年度はコロナ元年となり、休校・行事の中止・縮小を余儀なくされた。60周年記念行事も延期となった。本年度12月3日に近江八幡市文化会館で予定されていた60周年記念行事も、再度実施を見合わせる決定が9月下旬にされた。コロナ禍で世間が揺れる中、貴重な高校生活を過ごし、一年半が過ぎようとしている。八工の歩んだ歴史を振り返る。

集会や式典で登壇された方がスピーチをすると、必ず出てくる言葉がある。「やればできる」

「やればできる」「はいっ始まった」

この6文字を言わない人はいない。先生方も事あるごとに口にすることの言葉、いったい誰が考えたのだろうか。

この言葉があることで、八工は体育会系の雰囲気が出てくる。工業高校はどきどきするんだらうか。はつきり言っている、と思う八工生も少なからずいるはずだ。

初代校長の田辺重一先生が常に口にしていた言葉がある。「すれば何事も出来るんだ」

出来ないのはしないからだ」という言葉だ。これがもとになっていることは確かだ。

その後の八工新聞では「なぜやれるのか」「やればできる」「やれる八工魂」の5つが散見された。「やればできる 八工魂」に

開校から61年が経った今、八工を創りあげた精神を令和を生きる八工生はどう捉えているだろうか。

「(川) 関係特集 9面に続く」



昭和43年 体育祭の様子

はっちークイズ

Q1 これは一体何になるのでしょうか？何かの一部だよ。



答えは7ページ最下段へ

Q2 和歌山そうぶん会場にあったコロナ対策ポスター。右下のパンダはなぜダメなのか？現地で話題になっていたのですが・・・わかるかな？



答えは8ページ最下段へ

アポロ

今回から突然現れたこの企画。前はアポロという名前は聞いたことがない。新企画のようには思えない。実は八工新聞創刊当初からある。正しく企画なのだ。しかし、今回まで20年近く休載になっていた。企画内容を簡単に説明すると、天声人語とか秋みちいなどの。しかしこれは学校の新聞。天○人語とか春○のような真面目さはない。今回は初回なので比較的眞面目にするが、次回からは先生に怒られないギリギリを攻めようと思う。

今年で2年目となった新型コロナウイルス。さすがに飽きてきた。学校生活最大のイベントともいえる修学旅行すら延期になってしまった。四国中にコロナをデリバリーするわけにはいかないのだから。自転車乗りの私としてはしまみ海道をかなり楽しみにしていたのだが残念で仕方がない。3年生になったから忙しくなるので、それまでの開催を期待したい。しかしその場合、冬の瀬戸内に行くことになる。ラフティング体験もあつたのだが、まさか極寒の川で寒中水泳をするわけでもないだろう。

八工だったらあり得るか？今年だっただけあり得るか？今年の夏は東京五輪に世界中が熱狂した。コロナウイルスに翻弄されたイベントの代名詞といえるだろうこの大会。開始前は賛否両論あったが、いざ始まってみれば大盛り上がり。大熱狂で幕を閉じた。今回はパリ大会。そこでは五輪において大きな変更がなされる。eスポーツが正式種目になるのだ。昨今のゲームシートの盛り上がりは留まるどころを知らない。国内外で数多くの大会が開催され、プロゲーマーという職業まで誕生している。八工でも今年度からeスポーツ機運が高まりつつある。来年からは正式にeスポーツ部が設置されるようだ。かくいう私もゲームは嫌いではない。寝る間を惜しみ、勉強する間を惜しみ、腕を磨いた。若者の鑑ともいえる生活態度だ。

今回復活したアポロ。数回でまた休載にならないよう後世の新聞部に期待しよう。創立70周年や80周年の紙面にも、かわらぬ掲載されていることを切に願う。まずは私の代で打ち切りにならないように卒業まで書くことしよう。(川)